

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元のHPなどでご確認ください。

2021年度仁科記念賞候補者 推薦依頼

受賞対象：広い意味の原子物理学およびその応用に関し、優れた研究業績をあげた比較的若い研究者。表彰受賞者には、賞状、賞牌および副賞（60万円/1件）を贈呈。詳細は仁科記念財団HP (<https://www.nishina-nf.or.jp>) を参照のこと。推薦方法：次の書類をE-mailまたは郵送（E-mailが望ましい）にて送付のこと（郵送の場合は1部）。書類の形式：電子ファイル（Microsoft Office Word（拡張子.doc）またはpdfファイル）が望ましい（なお、古い論文などpdfファイル化が難しい場合には印刷物のコピーも可（1部））。仁科記念賞推薦票A4判1枚（様式自由、本財団HPからのダウンロードも可）。候補者の氏名（ふりがな・英文表記を付する）・年齢・所属・職・連絡先（勤務先電話・E-mailアドレス等）、業績の題目（和文および英文）、業績の要旨（10～20行程度）、推薦者の氏名（ふりがな・所属・職・連絡先（自宅または勤務先の所在地・電話・FAX・E-mailアドレス）、候補者と推薦者との関係性を記載。推薦理由書A4判・2～3枚程度、参考となる論文のリストを含む。共同研究の場合は、各候補者の役割分担を記載。略歴（推薦者がわかる範囲にて可）。特に対象となる業績の論文（5編以内）。推薦期限：2021年8月31日（火）。書類送付先：113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45 公益財団法人仁科記念財団 電話（03）3942-1718 E-mail: nkz@nishina-nf.or.jp

令和3年度公益財団法人 光科学技術研究振興財団 書馬輝夫 光科学賞

書馬輝夫 光科学賞—対象者：日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人。（応募締切時点で45歳未満の方）外国籍の場合は、日本の大学等公的機関に5年以上在籍し、その間

に対象となる研究成果の中核を形成された方。学識経験者の推薦書によるものとする。賞状楯・賞牌・副賞500万円。応募締切：令和3年6月30日（水）当日消印有効

令和3年度公益財団法人 光科学技術研究振興財団 研究助成の募集

研究への助成—対象課題：〔第1課題〕光科学の未知領域の研究—特に光の本質について—。〔第2課題〕光科学技術による生命科学分野の先端研究。助成金総額：5,000万円（継続助成を含む）。応募締切：令和3年7月15日（木）当日消印有効 <http://www.refost-hq.jp>

公益財団法人大隅基礎科学 創成財団 第5期研究助成公募の ご案内

この度、大隅基礎科学創成財団では、第5期研究助成公募〔基礎科学（一般）〕〔基礎科学（酵母）〕（応募期間：2021年5月6日（木）～6月30日（水））を行うこととなりました。研究助成金：〔基礎科学（一般）〕1件につき1,200万円を上限とします。6～10件採択予定。〔基礎科学（酵母）〕1件につき500万円を上限とします。3件程度採択予定。研究助成期間：2021年11月～2023年10月末までの原則2年間。詳細は、大隅基礎科学創成財団HP 研究助成公募要項ページ (<https://www.ofsf.or.jp/activity/>) をご参照下さい。連絡先：226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S2-16 公益財団法人大隅基礎科学創成財団 事務局 電話（045）459-6975 FAX（045）459-6976

一般財団法人キャノン財団 第13回研究助成プログラム （2021年募集）のご案内

研究助成プログラム「善き未来をひらく科学技術」：善き未来につながる新しい価値の創出を目指し、そのために必要な科学知識を獲得する研

究、およびその展開を図る基礎技術研究を対象とするプログラムです。研究助成プログラム「新産業を生む科学技術」：新産業の実現につながる新しい価値の創出をめざし、そのために必要な技術を確立する研究、およびその基礎となる科学的研究を対象とするプログラムです。助成申請額：〔善き未来〕1件あたりの申請総額上限3,000万円（全体で3件程度）。〔新産業〕1件あたりの申請総額上限を2,000万円（全体で10件程度）。募集期間：2021年6月1日（火）10時～6月30日（水）15時。助成期間：原則3年間

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2021 の募集

対象分野：有機合成化学およびその関連分野。応募資格：国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2021年4月1日の時点で満40歳未満の研究者。なお、ライフイベント（出産・育児・介護）により研究を中断（休職）した場合、その期間に相当する月数を年齢制限の上限から延長する。国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする。他者の推薦のある者。各賞（BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞）の受賞経歴は問わない。表彰：〔Chemist Award BCA〕：記念品（盾）の授与、財団HP、関連専門誌等での発表。〔Lectureship Award MBLA〕：万有シンポジウム（札幌、仙台、福岡のいずれか）での研究内容の発表および表彰式、海外の著名大学および研究機関における講演（旅費支給）、下記財団HP、関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会による選考を行う。〔Chemist Award BCA〕（数名）：2021年10月頃決定予定。〔Lectureship Award MBLA〕（1名）：2022年2月頃決定予定。応募方法：下記財団HPから応募下さい。応募締切：2021年8月20日（金）。応募・問合せ：102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア 公益財団法人MSD生命科学財団「BCA/MBLA」事務局 https://www.msd-lifescience-foundation.or.jp/symp/bca/bca_entry.html

日本石鹸洗剤工業会 2022年度 グリセリン新規用途開発 研究助成の募集

日本石鹸洗剤工業会では2022年度グリセリン新規用途開発研究助成の募集をします。詳細は下記HP参照。助成額：1件50万円まで2件上限。対象研究：グリセリンの新規用途開発研究・グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究・その他需要拡大につながる研究。対象者：大

学、高専、公的研究機関に所属する研究者。応募方法：応募用紙は当工業会HPで6月半ばよりダウンロード可。必要事項を記載の上、2021年8月31日（火）までに事務局までご郵送下さい。選考方法：選考は日本油化学会に委託し当工業会理事会で決定。選考結果は2022年1月末までに通知。連絡先：103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11 日本石鹸洗剤工業会 電話（03）3271-4301 <https://jsda.org/> グリセリンは、脂肪酸や石けんの製造過程で副生し、また近年は天然油脂を原料とするバイオディーゼルの生産過程での副生という新しい発生源も加わっています。当工業会はグリセリンの新規用途開発の研究の奨励、援助を行い、もって有用なグリセリンの需要拡大、有効利用に寄与することを期待しています。

ノボザイムズジャパン研究ファンド 2022年度プロジェクト募集

ノボザイムズジャパンでは2022年度研究助成のプロジェクトを募集しています。応募方法等詳細は下記HPをご覧ください。対象研究領域：酵素および微生物の基礎または応用研究。研究助成金：1件につき100万円（3件の予定）。応募期間：2021年4月15日（木）～6月30日（水）（延長した場合は下記HPでお知らせします）。連絡先：ノボザイムズジャパン研究ファンド事務局 E-mail: mmb@novozymes.com <https://www.novozymes.com/japan>

プログラム・マネージャー（PM） の育成・活躍推進プログラム 令和3年度研修生の募集

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）では、イノベーションの可能性に富んだ挑戦的な研究開発プログラムをプロデュースするプログラム・マネージャー（PM）に必要とされる能力を育成し活躍を推進することを目的として、研修生を募集します。公募期間：令和3年4月23日（金）～6月30日（水）12時。応募要件（実務経験）：a. 大学・研究機関等において、研究開発活動に従事した経験を有する者、またはリサーチ・アドミニストレーター（URA）もしくはURAと同等の業務に従事した経験を有する者、b. 企業等において、新製品や新事業の企画、事業化または研究開発に従事した経験を有する者、c. 国内のファンディング機関（FA）等において、研究開発プログラムを担当した経験を有する者。採択予定人数：20名。研修概要：第1ステージ（1年）講義/演習、および研究開発プログラムの構想。第2ステージ（1～2年）プログラム構想深化のためのFS・調査研究。※FS活動経費として、JSTから予算

交付（上限額 5 百万円程度）。公募の詳細は、HP（<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/pm/koubo.html>）をご参照下さい。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）科学技術イノベーション人材育成部公募担当 電話(03)5214-

8446 E-mail: innov-jinzai@jst.go.jp

【JST 未来社会創造事業】
令和 3 年度研究開発提案募集

JST では、未来社会創造事業令和 3 年度研究開発提案募集を行っています

す。詳細情報：HP（<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/open-call/research/r03/index.html>）より。公募テーマ：探索加速型；全 7 領域（うち新規 3 領域）の重点公募テーマ、大規模プロジェクト型；1 つの新規技術テーマ。募集期間：令和 3 年 4 月 22 日

（木）～6 月 15 日（火）12 時締切。問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部 102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町 E-mail: kaikaku_mirai@jst.go.jp

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限りませす。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③掲載は 1 回に限りませす。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は 600 字以内で作成して下さい（英文は和文の 0.55 字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として本会ホームページに最新号の PDF 版を公開しております。<http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶｶﾝ, 記号（約物）；.。〔（・/ 等
- ・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ, 全角記号, アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。
- ・文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。

・組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール（受付番号付）に●印の指示を行いに送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P ^{2 +}$

・下付； $CO_2 \rightarrow CO ₂$

・イタリック；*italic* → $<I> italic </I>$

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。

- ④電子投稿が完了ましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。

- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①当月 25 日まで；URL フォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。

- ②26 日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp